

平成19年度新潟大学キャリアセンターと学生との懇談会概要

日時	平成20年2月6日(水)	13:30~15:00
場所	総合教育研究棟 D301 地域・国際交流促進室	
参加者	学生(学部,大学院,留学生)11名	
	キャリアセンター会議委員	6名
	キャリアセンター教職員	8名

紙谷キャリアセンター長から、開会の挨拶の後、本懇談会の趣旨について、本学キャリアセンターが実施している進路支援事業に関して、学生側からの意見要望等を聴き、今後の支援事業の充実を図りたい旨の説明があった。

続いて、多田就職課長の進行により、参加者の自己紹介の後、キャリアセンターに対して、主に次のような意見等が述べられた。

キャリアセンターについて

2年女：

1年生の時、キャリアセンターは何をしている所かわからなかった。具体的な活動がわかるようにしてはどうか？

キャリア意識形成合宿について

1年男：

9月にキャリア意識形成合宿に参加した。合宿ではこれからの大学生活を送る心構えができ、自分を形成していく上で、大変役立った。知らない人との交流もためになったので、もっと多くの人に参加できるように、春休みや夏休みに、このような自分の意見を述べられる行事を増やして欲しい。

キャリアインターンシップについて

2年女：

キャリアインターンシップに参加して、働くということを知る上でとてもためになった。

2年女：

私の学部では、インターンシップに参加すると単位になるので参加した。参加したことで、働きたいへんさを感じた。将来は自分の好きな仕事に対して誇りを持ってやりたいと思った。

3年女：

2年生で、まず職場体験したいと思いキャリアインターンシップに参加し、その経験をもとに3年で学部のインターンシップに参加し単位をとった。

院2年男：

インターンシップは、会社で働くとはどういうものか知りたくて参加した。もっといろいろな企業のインターンシップを受けたかった。

イベント等について

3年女：

就職支援のイベントに積極的に参加している。また、過去のイベントの動画をキャリアセンターで見て参考にしている。マスコミ志望なので、作文・論文講座などの企画もしてほしい。

3年女：

教員志望なので、キャリアセンターのことはよく知らなかった。学部のイベントで足りていた。

4年男：

教員志望の学生はキャリアセンターを利用しないようだが、将来、教員になった時、学生を指導するためにも、就職活動がどんなものかを知っておくことは役に立つと思う。

4年女：

キャリアセンターと聞くと、就職活動のところというイメージがあり、3年生から利用を始めた。エントリーシートの添削ではお世話になったり、公開模擬面接を体験して、今ではグッジョブの一員として、今年の就活生を応援している。

(注：「グッジョブ」とはキャリアセンターが後援している就職応援サークル)

4年男：

グッジョブの公務員部門を担当しているので、キャリアセンターには会場の確保、グッジョブの広報活動でお世話になっている。エントリーシートの添削は、とても役にたったので、添削をしていることをもっとPRしてはどうか？また、公務員試験対策の面接や集団討論の回数を増やして欲しい。・・・それと、民間企業合格者の話をもっと聞いて参考にできればよかったと思う。

院1年M女：

学部の時は、マスコミ志望でしたので、地方にはマスコミ講座がないなど、不利だなと感じた。指導を業種別におこなってはどうか？就職希望の業界ごとのコミュニティを作り、情報交換したり励ましあったりできるといいと思った。

院2年男：

エントリーシートの添削はとても役に立った。また、模擬面接も助かった。

今後は小論文対策を希望する。

また、面接に慣れていない公務員志望者には模擬面接を2、3回受けられるようにしてもらいたい。

キャリア教育について

院1年M女：

就職活動を始めてからでなく、大学生になった早い時期から、将来の進路について考えさせることが大切だと思う。

キャリアセンター教員：

平成17年度に就職部からキャリアセンターに改組し、低学年次からのキャリア意識形成にも力をいれている。平成18年度に正課授業の中から、特に将来のキャリア形成に役立つ「キャリア意識形成科目」をリストアップし、学生の皆さんにわかりやすいように履修ガイドやHP上で公開している。また、キャリアセンターでも新規に科目を開講しており、今年度は6コマ、延べ550名が受講している。

授業ではキャリアセンターの利用説明やゲストスピーカーとしてOBOGの体験談を聞いたり、グループワークを通して自分らしいキャリアとは何かを学生の皆さん自身と一緒に考えている。授業を聴講していない学生にも、「充実した大学生活」が卒業後の「自分らしいキャリア」への近道であることを伝えるために、大学生活での目的意識を持たせるツールとして平成20年度から「キャリアガイド」を作成し、新入生全員に配布する予定である。

院生の立場から

院 2 年男：

学部 3 年生と同様に各種イベントに参加しながら就職活動を行った。特に問題はなかった。

留学生の立場から

留学生 院 2 年：

留学生は、メールをあまりみていないので、学部の掲示板にもっと情報を流して欲しい。また、就職活動のプロセスがよくわからないので教えて欲しい。留学生向けのガイダンスの時間を利用してはどうか？就職活動では、筆記試験が大変だった。

就職課長

留学生の就職活動用 DVD の貸出や各種イベント案内は、メールや掲示でお知らせしているので、留学生の皆さんもメールを確認する習慣をもってほしい。今後は、留学生向けガイダンスにキャリアセンターも参加して、センターの支援事業について周知を図ってきたい。

国際センター教員：

留学生には、書く力が不足している。国際センターではビジネス日本語を開講している。留学生は全体で約 360 人おり、日本語教育が必要な留学生は約半数いるが、実際に受講しているのはその半数にすぎない。国際センターではキャリアセンターと連携していくことが必要だと思っている。

学生支援の立場から

各委員

・各学部とキャリアセンターの連携を一層進めていくことが必要だと思う。

・今日の学生の話から、重要な情報がなかなか伝わっていないことを知った。

情報を伝えるのには、口コミが有効なので、サークル活動やゼミ等、情報を共有できる場を大学内でつくったらどうだろう。今日提案のあった「希望業種ごとのコミュニティ」を作るのもいいと思う。

・最近では、WEB 上から就職活動をする人が増えているが、学校推薦の枠が企業から学部
に依頼されている場合がある。学部の指導教員や就職担当教員にもっと相談してほしい。

まとめ

紙谷キャリアセンター長から、今日の意見等を参考に、改善点できる点は早急に行い、事項によっては時間をかけて取り組んでいきたい旨のまとめがあり、本懇談会を終了した。